

以上各領の定二請ニ付シテ不此際人云一社が専取
全無リ審認スル概ハスル元々多少ノ讓歩ヲ奉
スニ於テハ解決ヲ見ルニ至ルヘシトテ職工五名ヲ
待ヒテ三日園田社長定ヲ請ヒタル元不在ニテ解
散也

職工五名職工方ハ買元林方ニ約三十名人云ハ程
以テ此ハ内容大異園田氏ハ初ハ其方以テ
打切リトスルヲ及資本調達ノ者ヲ行ヒ奉ル石炭
より高ノ跡始末結ニ入監考家族ニ付スルノ後
故前方法等ニ對スル元々好ク解子モ云々退散
也 同午控ニ任職派(在職職工職工代表者
ト云ハ立元者外三名向)曰曰硬派(解雇職工代表者
後恒業以外三名各別)今午社ニ出頭社長ニ

園田會社出ラタリ之ニ對シ社長ハ前者ニ付レハ
五日午前十時ニ會シタルハ一層之確ラ之ニ後
者ニ付レテ是時會ヲ異ラシテ會リタル意解中ナル
カ好シ而硬派代表者等ハ身係ニ付レ三ノ示
戒違新ハ應援者ト云ハ初ニ録儀ナラサレル元ノ
ニ付テ云々マノ意思ニ非ラサルコト、工場ハ領ノ中會
ヲ為シタルガ不穩ト云ハ初モ人々同ノ可ノ子情ニ
是等ノ旨并疏セリト云フ

如以上四派一系者、結末リ悉シ定シテ況表ノ状
勢ヲ望ミセリ (一四の四)

職工側ハ硬軟二派(硬派ハ解雇職工軟派ハ在職
職工)ニ分レ硬派約三十名、五日ニ林方
ニ集合シ種々提議スル所アリシガ人々皆午前午後